



北海道静内高等学校 学校便り

渺々万里

第140号

北海道静内高等学校

〒056-0023

日高郡新ひだか町

静内ときわ町 1-1-1

TEL 0146-42-1075

静高 PRIDE！！

～日本一満足度の高い高校～

校長 酒井 徹雄

4月に着任し早くも6ヶ月が経過します。学業、部活動、各行事など、生徒たちは、高校生活全てに全力で取り組んでいます。そのような姿を見るのはうれしいものです。本校は生徒にとって、日本一満足度の高い高校だと感じています。保護者等の皆様、地域の皆様にとっても、「地域になくてはならない高校」と思っていただけよう、これからも職員一同、力を注いでいきます。

さて、今年は、3年振りにスクール・ミッションの抜本的な見直しをしました。アンケートにご協力いただきました、生徒の皆様、保護者をはじめ関係の皆様ありがとうございました。日高管内の全中学生からもご意見をいただきました。アンケート結果より、静内高校像は次のようになることがわかりました。

「生徒の興味に応じた専門的な学びができ、広い視野で進路を考えることができる学校。」

「基礎的な学力から進路に必要な資質・能力まで身に付き、親身な指導と充実した部活動ができる学校。」

これは一言で「静高 PRIDE」と表現できると思います。

後期が始まります。生徒達は「静高 PRIDE」を身に付け、次のステージへ自信を持って進むことになりま

す。最後になりますが、今後も、本校の教育活動に対する皆様方のご理解、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

立会演説会

生徒会部長 金井 幸雄

9月10日（火）に生徒会役員選挙および立会演説会が行われました。立候補者はこれからの学校生活をより良いものにするために実現したい公約を、応援演説者は立候補者の人柄や職務を遂行するために必要な資質についてステージでアピールしました。生徒会長候補は決選投票が行われるため、特に生徒たちは真剣に耳を傾け、スピーチが終わるたびに拍手が会場に起こりました。交通安全委員長は立候補者不在により、新生徒会長が推薦し評議委員会を経て後日認証されました。後期より一年間、新生徒会執行部が静内高校の伝統を踏襲しつつ、新たな視点と斬新な発想で学校行事の企画や運営に尽力することを期待しています。

球技大会

生徒会部長 金井 幸雄

9月12日（木）、13日（金）に球技大会が行われました。例年雨に悩まされる行事ですが、今年度は天候にも恵まれ、前日には生徒会を中心に体育委員や運営委員、部活動生徒の協力を得ながら、サッカーゴールの移動やテント設営など競技が円滑に進められるよう準備に十分な時間が取れました。

1日目は、さわやかなそよ風と暖かい日差しの中で開会式が行われました。有志により選ばれた3年生4人が高校生活最後の球技大会に向けた思いを胸に、ときにはユーモアを交えて高らかに選手宣誓を行いました。競技のルールやマナーについて諸注意を受け、最初の競技としてクラス全員による玉入れが実施されました。その後はバレーボール、サッカー、ソフトボールなどに分かれ競技が始まり白熱した試合が展開されました。生徒はプレーの合間にクラスの応援や競技運営の手伝いと、休む間もなく校舎内外を元気に動き回り、今年度最後の大きなクラス行事を楽しんでいました。

2日目は、予選の結果をもとに決勝トーナメントが組まれました。最近では1年生が優勝する競技もあり、上級学年が必ずしも勝ち上がるとは限らないため、最後まで総合優勝が分かりません。優勝に向けて、また少しでも順位を上げるためにより一層プレーや応援にも力が入り熱戦が繰り広げられました。決勝戦前にはシークレット競技として教員と生徒有志によるエキシビジョンマッチも行われ、学校全体がスポーツを楽しむ1日となりました。

10月の行事予定

1日（火）	開校記念日
2日（水）	後期始業式 身だしなみ指導
8日（火）	芸術鑑賞
14日（月）	スポーツの日
27日（日） ～31日（木）	見学旅行（2年次）
31日（木）	進路別体験学習（1年次）



1 日防災学校

防災委員会 石丸大介

9月2日に1日防災学校を実施しました。

1校時は、自衛隊の方を講師にお招きして災害の現状や高校生に期待する自助・共助について学びました。2校時は、地震から大津波警報発令を想定した避難訓練でした。これは隣接する平取養護学校静内ペテカリの園分校の生徒及び教職員との合同訓練で、いざという時の備えや協力体制、災害時に危険な箇所等を確認する大切な機会となりました。3校時以降は年次ごとに異なる内容で、1年次生は心肺蘇生法実習、2年次生は自衛隊協力のもと簡易担架づくりや土嚢配置訓練といった体験型防災学習、3年次生は避難所運営ゲーム「Do はぐ」を行いました。

1日防災学校を通して、地域における共助の主戦力として期待されている高校生の役割を再認識し、防災意識を高めることができたと思います。



(男子1部シングルス)

3位 村本慎太 (2年5組)

4位 村井琥白 (2年2組)

(男子2部シングルス)

優勝 高橋慧式 (1年2組)

準優勝 沖田翔吾 (1年3組)

(女子ダブルス)

優勝 平川優衣 (1年2組)・高田真那 (1年3組)

(女子1部シングルス)

優勝 高田真那 (1年3組)

(女子2部シングルス)

優勝 中村叶帆 (2年2組) 準優勝 神垣妃那乃 (1年4組)

3位 山根菜々恵 (2年3組)

【書道部】

第58回高野山競書大会 (8/1～8/15 総本山金剛峯寺)

【高野山書道協会賞】北郷心音 (3-2)

【推薦】村井希帆(3-5) 【特選】猪村菜美(3-1)、五十嵐晴妃(3-2)、中山夏風(2-5)

第48回全国高等学校総合文化祭岐阜大会書道部門 (7/31～8/4 岐阜県下呂交流会館)

【奨励賞・読売新聞社賞】青木理子 (3-4)

令和6年度 北海道高等学校文化連盟苫小牧支部書道展研究大会 (9/12～9/13 苫小牧市文化交流センター)

【優秀賞】猪村菜美(3-1)、五十嵐晴妃、北郷心音、平野琉知文(3-2)、富士本涼奈、本山心羽(3-3)、青木理子(3-4)、加渡莉々亜、村井希帆(3-5)、岩崎舞依、黒田杏南、寶金劉希娃 (2-3)、菅原悠斗、竹内花朋 (2-4)、小野杏紗、中山夏風(2-5)、三谷愛好(1-2)、青木心春、渡辺彩華(1-4) 【奨励賞】岡部麻玲、旭岡知優(1-3)

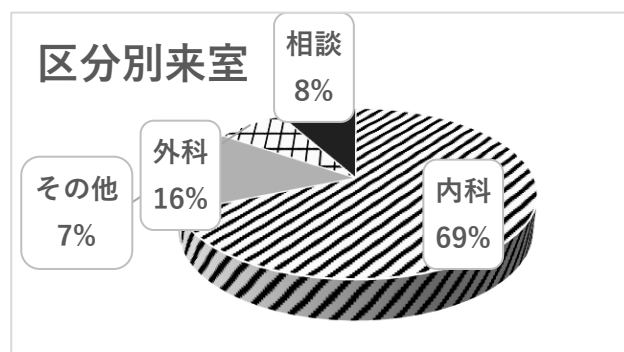


保健室利用について

養護教諭 千代 麻友

9月24日までの今年度の保健室を利用した生徒の人数は603人(述べ人数)で、1日平均利用者数は6.0人です。来室理由としては内科的症状が約70%と多く、その内訳は多い順に頭痛(28.7%)、腹痛(10.4%)、吐き気(10.4%)、風邪症状(咳、咽頭痛、鼻水等)(9.9%)となっています。外科的症状は擦過傷(31.6%)、筋腱痛(13.7%)、打撲(12.6%)の順に多く、体育行事のある7月、9月に多い傾向です。

特に9月下旬に入ってから、朝晩も冷えるようになり、風邪症状を訴えて来室する生徒が多かったです。これからはさらに冷え込みが厳しくなる季節になっていきます。各ご家庭でも体調管理にご留意ください。



主な部活動大会結果

※陸上競技部、馬術、美術部、囲碁将棋部は次号に掲載します。

【バドミントン部】

第77回 北海道バドミントン選手権大会

令和6年8月15日～18日 於：伊達市総合体育館

(男子ダブルス)

村井琥白 (2年2組)・有田慎平 (2年5組)

2-0 岩見沢東、0-2 武修館

村本慎太 (2年5組)・森晴海 (2年4組)

1-2 函大有斗

(男子シングルス)

村井琥白 (2年2組)

2-0 岩見沢農業、0-2 函館工業

(女子ダブルス)

高田真那 (1年3組)・平川優衣 (1年2組)

2-1 函館白百合、2-0 名寄、0-2 とわの森

(女子シングルス)

高田真那 (1年3組) 0-2 札幌北斗

(一般女子ダブルス)

大島梨華 (3年2組) 0-2 旭川商業

※パートナーは苫小牧工業の生徒

(一般女子シングルス)

大島梨華 (3年2組) 0-2 北翔大学

第62回苫小牧市長杯高校新人バドミントン大会

令和6年9月22日

於：苫小牧工業高校 (男子)、苫小牧東高校 (女子)

(男子ダブルス)

準優勝 森 晴海 (2年4組)・村本慎太 (2年5組)、

村井琥白 (2年2組)・有田慎平 (2年5組)